
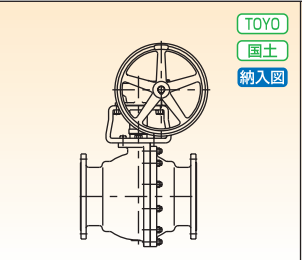
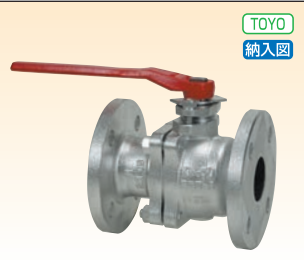
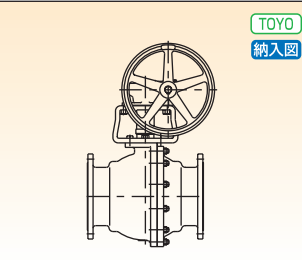


# ボールバルブ

分類	鋳 鉄		ダクタイル鋳鉄													
クラス	10 K															
形状																
製品コード	03K1E13	03K1E05	02K1E19	02K1E03												
本体材料	ねずみ鋳鉄 FC200			ダクタイル FCD-S												
ボール材料	ステンレス SUS304 or SCS13A			ステンレス SUS304 or SCS13A												
シート材料	PTFE			変性PTFE												
ボア径	フルボア			フルボア												
製品記号	10-FBF-N-L		10-FBF-N-G		10-DBF-N-L		10-DBF-N-G									
呼び径	L	H	D <sub>1</sub>	¥	L	H	D <sub>1</sub>	¥	L	H	D <sub>1</sub>	¥	L	H	D <sub>1</sub>	¥
15A (1/2B)	110	102	130	14,100					108	106	130	20,000				
20 (3/4)	120	105	130	15,900					117	109	130	24,500				
25 (1)	130	124	160	21,500					127	130	160	28,700				
32 (1 1/4)	140	130	160	29,100					140	135	160	○				
40 (1 1/2)	165	115	230	35,000					165	115	230	48,000				
50 (2)	180	120	230	42,400					178	120	230	58,200				
65 (2 1/2)	190	155	400	69,900					190	153	400	81,900				
80 (3)	200	165	400	89,400					203	162	400	105,000				
100 (4)	230	200	460	131,000					229	199	460	150,000				
125 (5)	300	220	460	246,000	300	467	310	○	356	219	460	314,000	356	467	310	○
150 (6)	340	295	1000	340,000	340	492	310	○	394	293	1000	405,000	394	492	310	○
200 (8)	450	355	1500	594,000	450	594	360	○	457	352	1500	719,000	457	594	360	○
最高許容圧力	目安:0~120℃の $\square$ 1.4MPa 最高許容圧力は74頁の表をご覧ください。 ●面間寸法:JIS B 2002 (ただし150A・200AおよびJIS規格が未制定の125A・32A以下の呼び径は、TOYO標準です。)						目安:-10~120℃の $\square$ 1.4MPa 最高許容圧力は74頁の表をご覧ください。 ●面間寸法:ASME B16.10 & API Spec 6D									
備考	☆2006.3月より設計変更						☆2006.3月より設計変更、呼び径32A追加									
ガスについては、毒性ガスおよび可燃性ガスは除く。																

〈本体防錆塗装付 アクリル変性アルキド樹脂塗装 (シルバー色)〉

## 東洋フランジ形ボールバルブについて

東洋フランジ形ボールバルブには、鋳鉄・ダクタイル鋳鉄・鋳鋼・ステンレス鋼の各本体材料があります。

鋳鉄製はJIS規格一般バルブと同様な範囲に使用するバルブとして、JIS関連規格に準拠して設計されています。

鋳鋼・ステンレス鋼製は主に一般プロセス用・プラント用として、ASME規格やAPI規格に準拠して設計・製作されています。

ボールバルブの開閉は球形のジスクを1/4回転して行うもので、機構や駆動方式がゲートやグローブバルブと異なり、いくつかの個々の特性を持っています。近年、これらの特性を活かして各分野で幅広く使用されており、今後さらに活躍の場を拓けるものとして期待されています。

### ●ボールバルブの主な特長

- ・流路に液溜りがないので、圧力損失が小さい。
- ・ステムが1/4回転 (90°) するだけで開閉ができるので、操作が簡単。
- ・ゲートやグローブバルブに比べて、軽量でコンパクト。
- ・メンテナンスが容易。
- ・小さなトルクと簡便な操作性から、経済的な自動化に最適。

### ●フローティング形とトラニオン形

- ・ボールをステムで固定せず、2枚のボールシートで抱きかかえた構造を「フローティング形」といい、閉止圧力が高い程封止力は増加しますが、大口径用や高圧用には不向きです。
- これを補うものとして、ボールを上下2本のステムで支持した構造の「トラニオン形」があり、大口径用や高圧用に適用されています。